



2022年6月

2022年3月期 会社説明資料

東証スタンダード:9059

カンダホールディングス株式会社





- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、
お客様と共に繁栄します。
- 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。
- 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。



01. カンダグループの概要	
会社概要	5
会社沿革	6
グループ構成	7
拠点ネットワーク	8
02. 事業の概要	
事業の特徴	10
物流サービスメニュー	11
取扱品目別 営業収益構成比率	12
03. 2022年3月期 連結決算概要	
決算推移（営業収益・営業利益）	14
（経常利益・当期純利益）	15
セグメント別業績	16
財務指標	17
貸借対照表	18
キャッシュフロー	19
04. 2022年3月期 トピックス	
〔組織再編〕 グループ会社合併	21
〔M&A〕 ソフトウェア開発会社のグループ化	22
〔M&A〕 重量物輸送会社のグループ化	23
新規拠点の開設	24

05. 株価と配当推移		
株価・配当推移		26
株価指標推移		27
優待制度と配当利回り		28
06. 中期経営計画 2022年4月～2025年3月		
前中期経営計画	計数計画進捗 サマリー	30
	主な活動実績	31
新中期経営計画	新たな計画策定に向けて	32
	グループ経営方針	33
	骨子	34
	計数計画 サマリー	35
07. 2023年3月期の取組み		
経営方針		37
久喜市に社員寮を整備		38
厚木市にて配送業務開始		39
08. ESGとBCP		
ESG		41
CSRレポート2021		42
「働きやすい職場認証制度」		43
BCP		44
安全対策		45

01

カンダグループの概要



商号	カンダホールディングス株式会社
本社所在地	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
創業	1943年11月
代表者	代表取締役社長 原島 藤壽
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結:2,543名（2022年3月末日現在）
グループ会社	28社（2022年3月末日現在）
市場区分	東京証券取引所スタンダード
証券コード	9059





創業期

運送業から物流業へ

総合物流企業目指して

1943年

東京都神田区内の運送会社
16社の統合により発足



1945年

定期路線便の構築



1963年

出版共同配送開始



1991年

カンダコーポレーション(株)へ
社名変更



1994年

日本証券業協会に
株式を店頭登録



2004年

東京証券取引所
市場第二部へ上場

2006年

流通加工会社
(株)モリコーをグループ化



2009年

持株会社制へ移行
カンダホールディングス(株)へ社名変更

2011年

(株)ペガサスパーセルサービスより
国際宅配事業部門を譲り受け
国際物流事業へ本格的に進出
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)



2012年

(株)ハーバーマネジメントをグループ化
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)

タイ バンコクに現地法人を設立

流通加工会社 (株)ジェイピーエルをグループ化



2014年

国際海上貨物混載会社 ニュースターライン(株)と
ベルトランス(株)をグループ化



2015年

日本物流ネットワーク協力会(JLNA) 発足



2017年

低温輸送会社 (株)中村エンタープライズをグループ化



2020年

カンダリテールサポート(株)と
カンダビズパートナー(株)が事業開始



2021年

システム開発会社 (株)ソフトエイジをグループ化



2022年

重量物輸送会社 堀切運輸(株)をグループ化





グループ構成

持株会社

カンダホールディングス株式会社

事業会社：国内物流/システム開発

カンダコーポレーション	埼玉配送	神協運輸	ワカバ運輸	ヤマナシ流通
	名岐物流サービス	アサクラ	関西配送	カンダ物流
	ロジメディカル	ロジメック		
カンダコアテクノ	ジェイピーエル			
カンダリテールサポート	モリコー	中村エンタープライズ	ソフトエイジ	堀切運輸



※2021年8月 グループ化



※2022年2月 グループ化

事業会社：国際物流

ペガサスグローバルエクスプレス	PGEタイ
ニュースターライン	ベルトランス



機能分担会社

カンダビズパートナー	ケイ・コム	神田ファイナンス
神田エンタープライズ	カンダハーティーサービス	



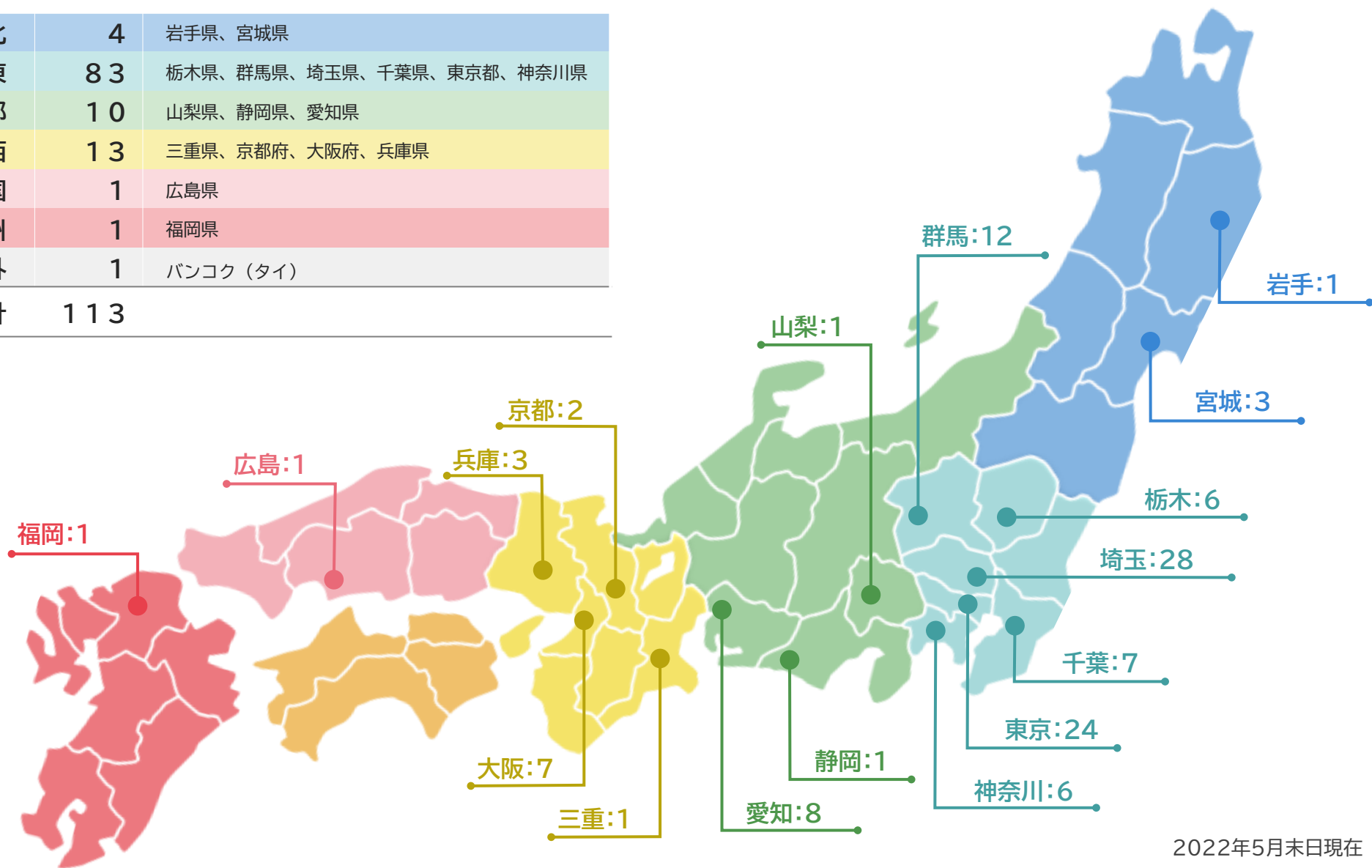
※ PGEインドネシアにつきましては、2021年4月より会社清算に向けた手続きを開始しており、2022年10月に清算が終了する予定です。

2022年3月末日現在



エリア別 事業拠点数

東北	4	岩手県、宮城県
関東	83	栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	10	山梨県、静岡県、愛知県
関西	13	三重県、京都府、大阪府、兵庫県
中国	1	広島県
九州	1	福岡県
海外	1	バンコク（タイ）
合計	113	



2022年5月末日現在

02

事業の概要



事業の特徴

■ カンダグループの4つの強み



多種多様な物流サービスを
提供できる国内外グループ体制



3,500社に及ぶお客様との
取引に支えられた裾野の広さ



1つの業種・業態、企業に
偏らない幅広い営業基盤



国内外を一気通貫で結ぶ
物流ネットワーク





物流サービスメニュー

国内物流 (庫内)



物流センター
(在庫型)



物流センター
(通過型)



流通加工



機密文書
保管



社内メール
サービス

国内物流 (輸配送)



共同配送



ルート配送



宅配



冷凍冷蔵
輸送



化学薬品
輸送



警備輸送
(集配金)



建築資材
運搬



廃棄物
収集運搬



介護輸送



重量物
輸送

国際物流



国際宅配



航空輸送



海上輸送



越境EC



現地法人

情報システム



WMS
/TMS



WEB受発注
システム



データセンター



ソフトウェア開発

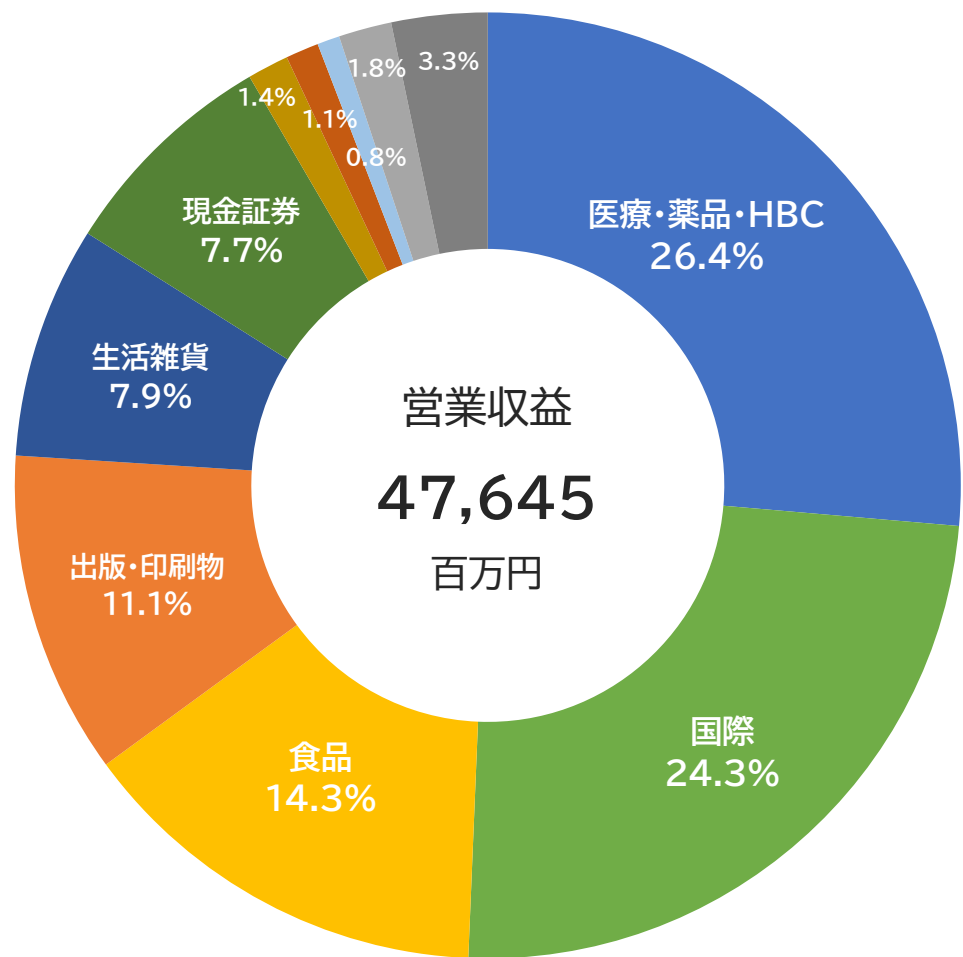


システム
ソリューション



取扱品目別 営業収益構成比率

■ 2022年3月期 構成比率



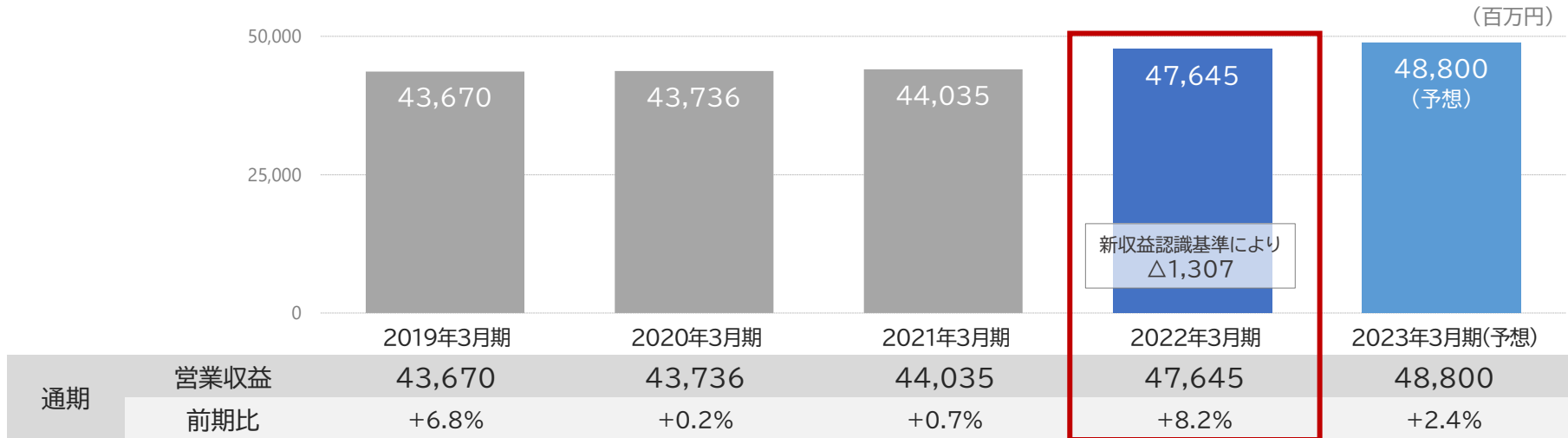
	構成比率
医療・薬品・HBC*	26.4%
国際	24.3%
食品	14.3%
出版・印刷物	11.1%
生活雑貨	7.9%
現金・証券	7.7%
環境・福祉	1.4%
繊維衣料	1.1%
システム開発保守**	0.8%
不動産	1.8%
その他	3.3%

* HBC … Health&Beauty Care の略称で健康食品や美容品などが含まれます。
** システム開発保守 … (株)ソフトエイジのグループ化に伴い、新たにセグメント化しております。

03 2022年3月期 連結決算概要

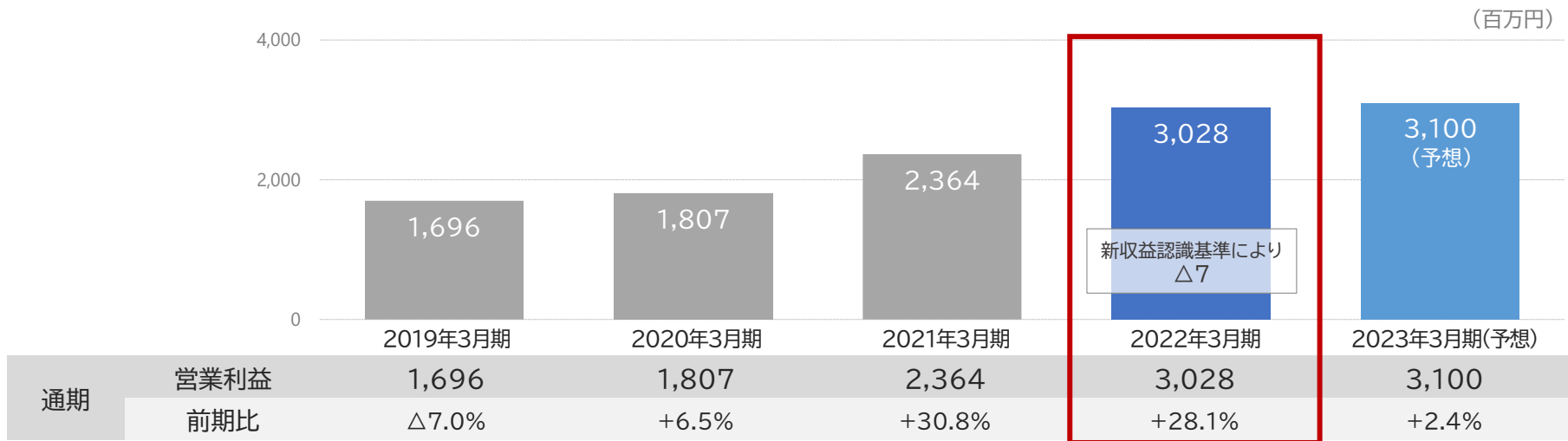


■ 営業収益



*2022年3月期より新収益認識会計基準を適用しております。

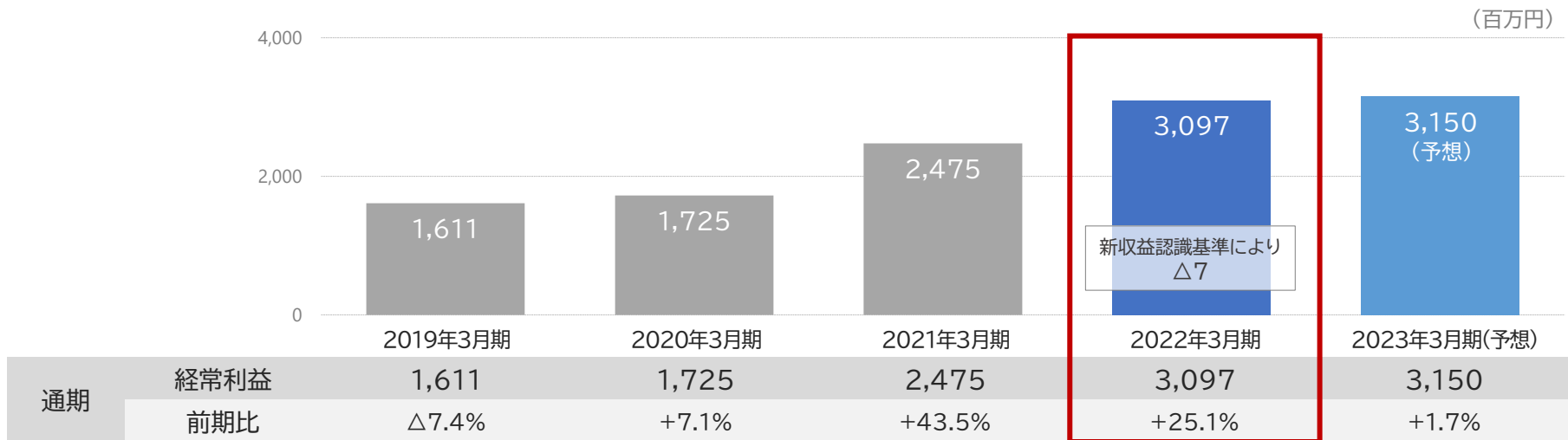
■ 営業利益



*2022年3月期より新収益認識会計基準を適用しております。

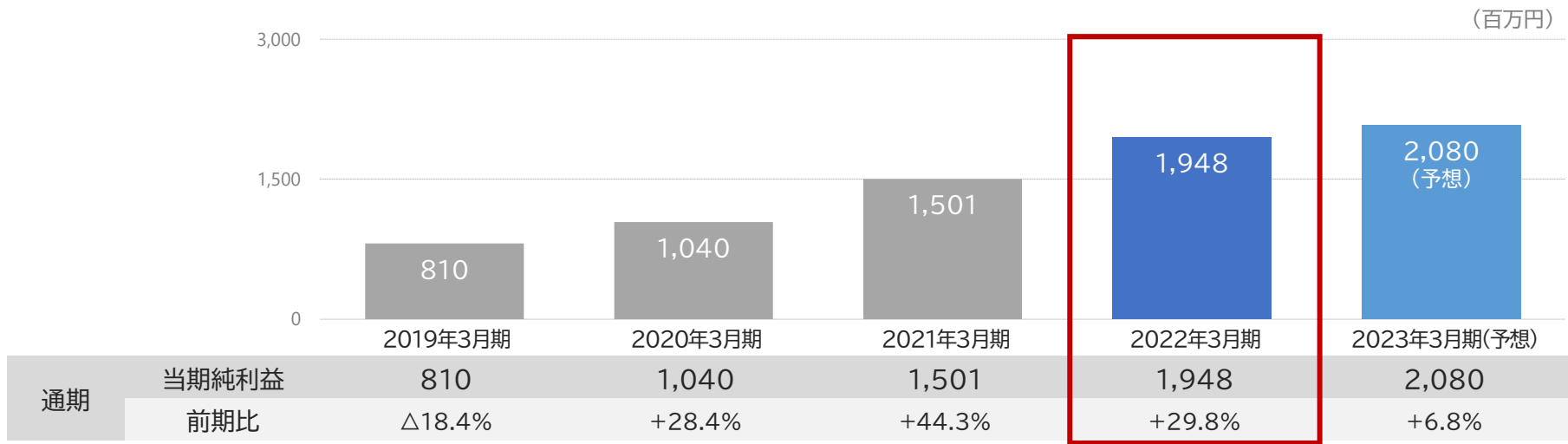


■ 経常利益



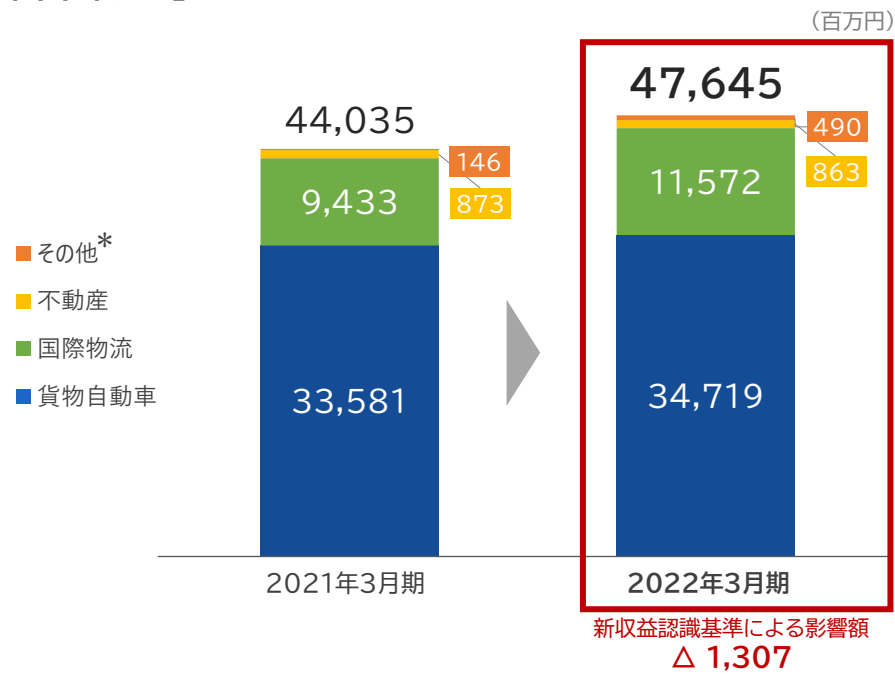
*2022年3月期より新収益認識会計基準を適用しております。

■ 当期純利益

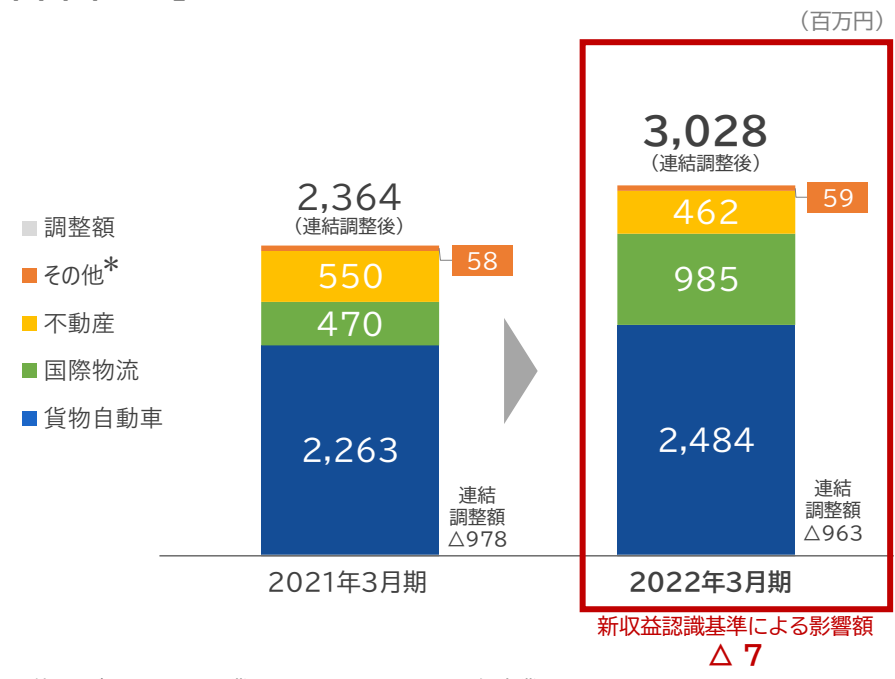


■ セグメント別業績

【 営業収益 】



【 営業利益 】



*「その他」セグメント:リース業、コンピュータソフト開発保守業、保険代理店業、部品販売業、太陽光発電業、清掃業、事務代行業の総額です。

国内	・ 食品、衛生用品、日用雑貨等の貨物量が引き続き堅調に推移 ・ 適正運賃の確保に向けた取組みを実施	増収 増益
国際	・ 各国の経済活動制限緩和等により国際輸送需要が特需的に増加 ・ コンテナ不足等、輸送インフラの供給不足により運賃高騰が継続	増収 増益



財務指標

改善  横ばい  悪化 

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
総資産（百万円）	39,317	39,487	39,562	40,831	41,247	
純資産（百万円）	16,364	16,910	17,681	19,138	20,563	
1株あたり純資産 [BPS]（円）	1,515.78	1,566.44	1,639.26	1,776.82	1,909.08	
1株あたり当期純利益 [EPS]（円）	92.21	75.27	96.65	139.48	181.03	
自己資本比率（％）	41.5	42.7	44.6	46.8	49.8	
自己資本利益率 [ROE]（％）	6.2	4.9	6.0	8.2	9.8	
総資産経常利益率（％）	4.6	4.1	4.4	6.2	7.6	
売上高営業利益率（％）	4.5	3.9	4.1	5.4	6.4	
売上高経常利益率（％）	4.3	3.7	3.9	5.6	6.5	
負債資本倍率 [D/Eレシオ]（倍）	0.59	0.58	0.49	0.40	0.34	
有利子負債（百万円）	9,690	9,783	8,635	7,704	7,018	
債務償還年数（年）	4.4	3.8	2.9	2.5	2.1	



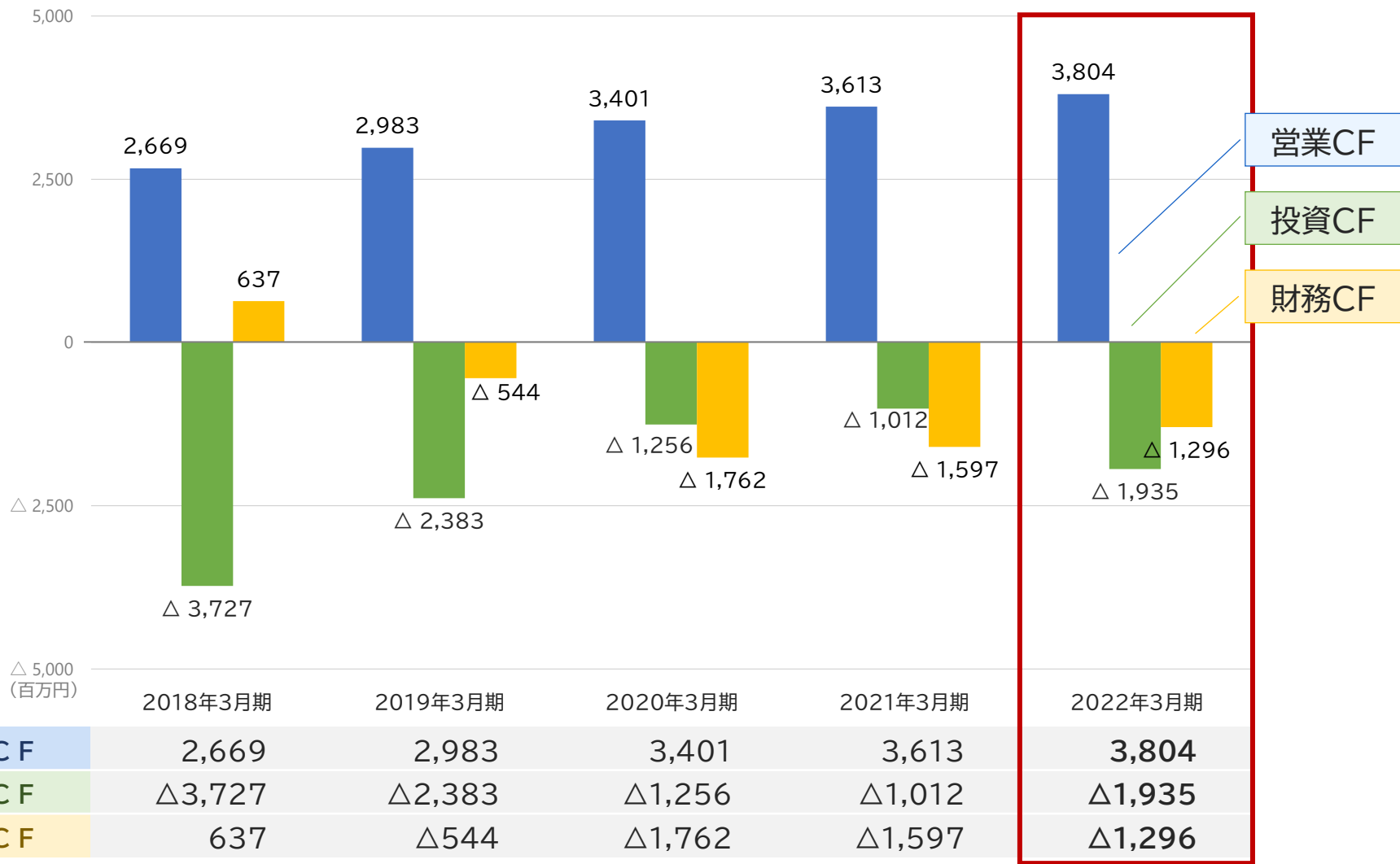
貸借対照表

(百万円)

		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
	流動資産	13,496	13,247	13,324	14,671	15,458
	固定資産	25,821	26,239	26,238	26,160	25,789
資産合計		39,317	39,487	39,562	40,831	41,247
	流動負債	12,278	13,142	12,565	13,474	13,374
	固定負債	10,674	9,434	9,315	8,218	7,309
負債合計		22,953	22,577	21,881	21,693	20,684
純資産合計		16,364	16,910	17,681	19,138	20,563
負債・純資産の合計		39,317	39,487	39,562	40,831	41,247



■ キャッシュフロー



04 2022年3月期 トピックス

■ 2021年7月1日 (株)カンダコアテクノ と (株)レキストは、経営の効率化を図るため合併をいたしました。

【 存続会社 】

商号	株式会社カンダコアテクノ
所在地	東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
設立	2008年5月
代表者	代表取締役社長 山崎 唯
資本金	8,000万円
拠点	東京 ・本社(営業本部・品質保証部) ・ロジテクノ営業所・浮間営業所・江東営業所 埼玉 ・三郷営業所・加須営業所・久喜営業所 神奈川 ・HL三郷営業所 岩手 ・花巻営業所



- ▶ GDP^{*}に準拠した医薬・医療機器物流に強みを持つ両社を合併し、経営の効率化と業務遂行能力の強化を図りました。
- ▶ 今後も医療関係者をはじめとする様々なお取引先様を物流面からサポートしてまいります。

*GDP … Good Distribution Practice の略で、医薬品における輸送・保管中の品質管理に重点をおいた国際的な適正流通ガイドラインです。

■ 2021年8月2日 ソフトウェア開発を主業務とする (株)ソフトエイジ をグループ化しました。

【 会社概要 】

商号	株式会社ソフトエイジ	
所在地	本社	宮城県仙台市青葉区本町2丁目6-23 ビブレスタオフィスビル 4F
	柏営業所	千葉県柏市旭町1-1-7 第5彰栄ビル 4F
	東京サテライトオフィス	東京都千代田区神田三崎町3-2-4 (カンダHD本社内)
設立	1997年8月	
代表者	代表取締役社長 薄井 敏実	
資本金	3,000万円	



【 事業概要 】 ITシステムの請負開発・情報処理全般に関する受託業務

リテールソリューション

- ・ハンディターミナル
- ・POSアプリ
- ・在庫管理システム 等の開発



ERPソリューション

- ・ERPシステム開発
- ・導入支援、保守サービス
- ・ソフトウェア、機器販売



- ▶ 同社は、ソフトウェア・情報処理システム・ネットワークシステムの設計開発により成長を続けてまいりました。
- ▶ グループ化により、物流事業者として必要な情報システム部門の維持・発展につながるものと期待しております。



[M&A] 重量物輸送会社のグループ化

■ 2022年2月7日 重量物(紙類)の輸送に特化した 堀切運輸(株) をグループ化しました。

【会社概要】

商号	堀切運輸株式会社
所在地	埼玉県八潮市西袋386番地
設立	1961年12月
代表者	代表取締役社長 佐藤 博樹
資本金	1,500万円
事業内容	一般貨物自動車運送事業および貨物利用運送事業
車両	29台 (26tトレーラー:5台 / 大型車:19台 / 4t車:4台 / 2t車:1台)



- ▶ 同社は、関東一円および東北から中四国までの幅広いエリアに向けて、段ボール原紙等の輸送を行っております。
- ▶ 重量物輸送をサービスメニューに加えることで、更なる新規顧客の獲得に向け取組んでまいります。

■ 新規開設拠点

開設日	名称	所在地	業務内容
2021年5月	ロジメディカル 四日市営業所	三重県四日市市	ペット用品のDC業務
2021年10月	カンダコーポレーション 吉見センター	埼玉県比企郡吉見町	家電の入出荷仕分け作業及び店舗向け配送
2022年2月	ロジメディカル 海老名営業所	神奈川県海老名市	医薬品のDC業務 他



〔四日市営業所〕



〔吉見センター〕



〔海老名営業所〕

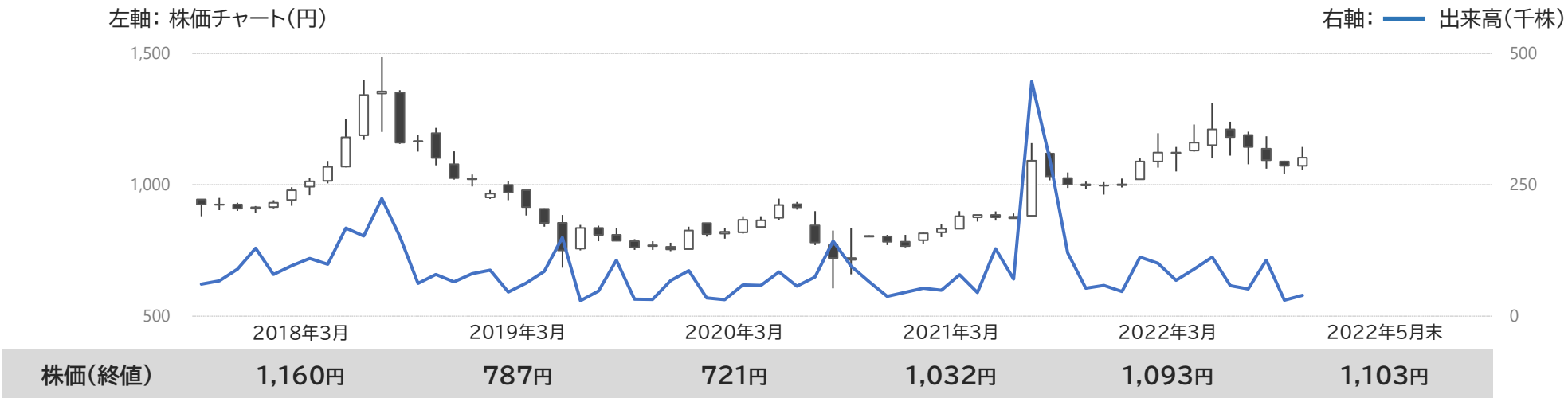
- ▶ 当社初となる三重県への出店、家電量販店様の業務開始など、新たな地域・領域への進出を果たしました。
- ▶ 今後も既存業務の拡大はもとより、事業領域の拡大についても積極的に取り組んでまいります。

05

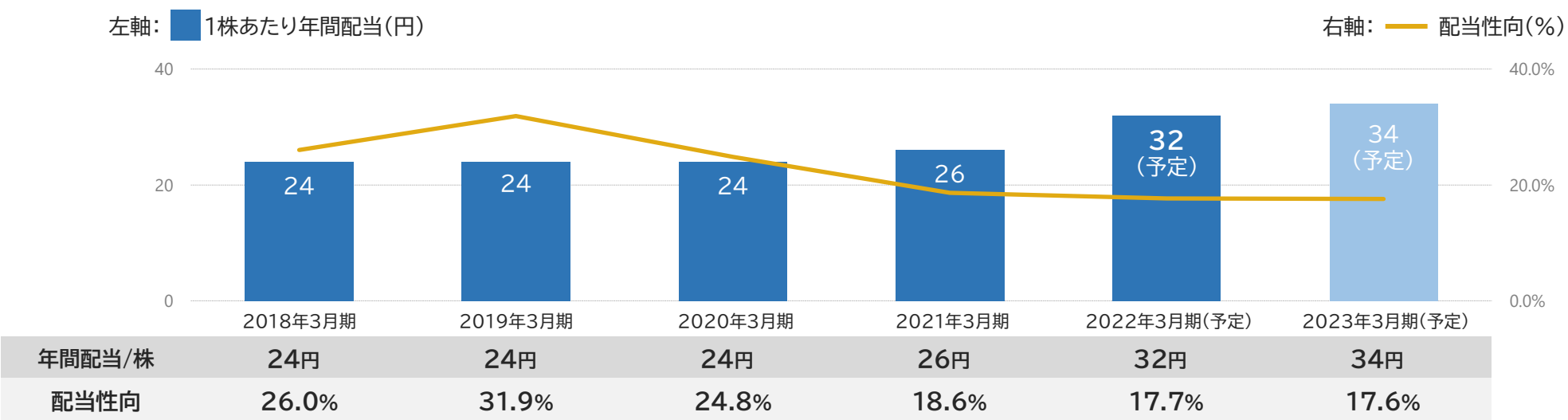
株価と配当推移



■ 株価・出来高



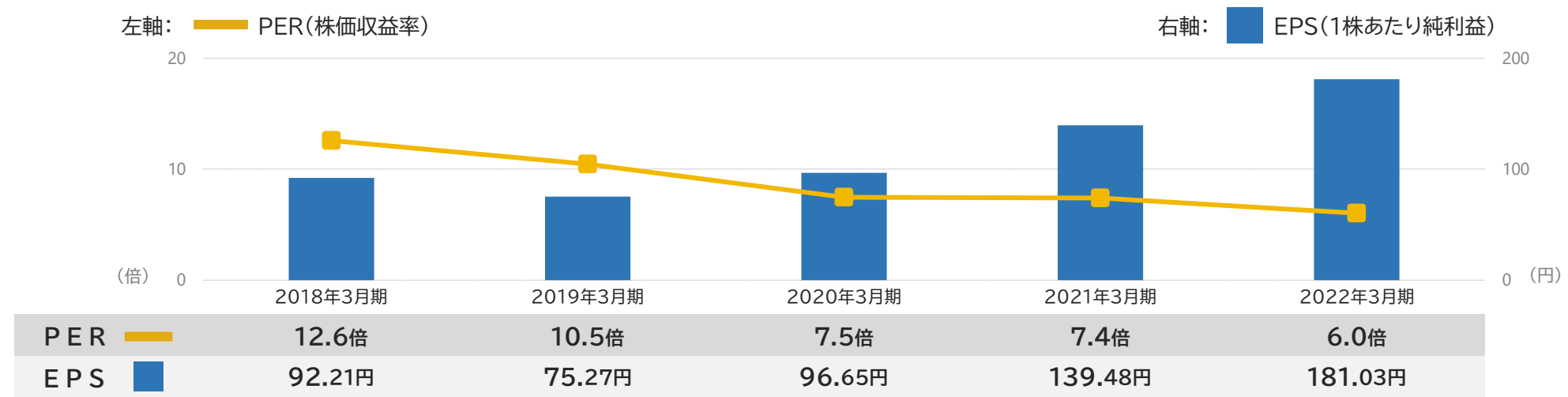
■ 配当・配当性向



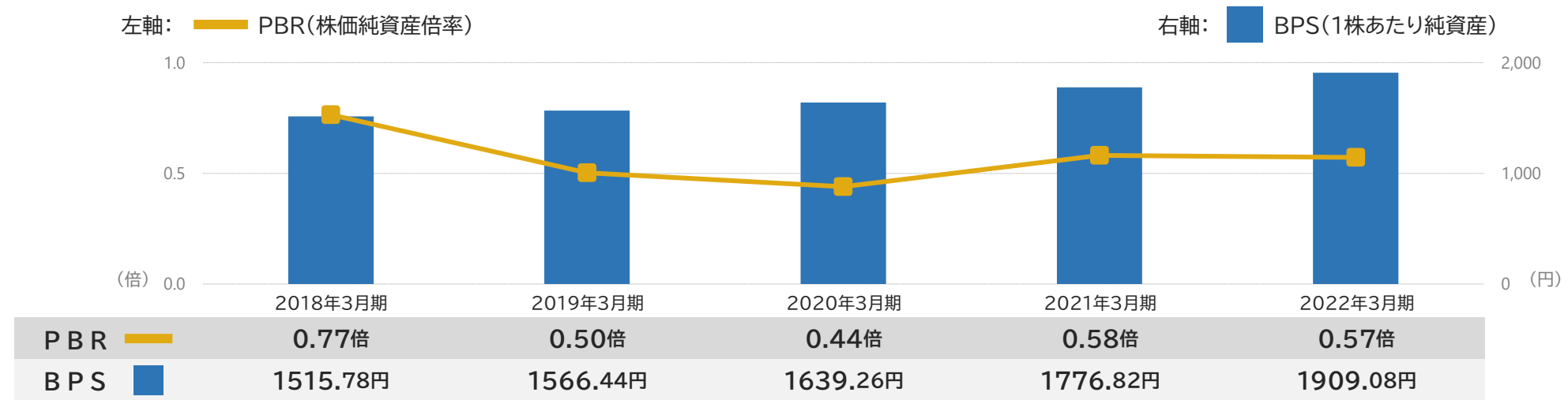
* 2022年3月期の1株当たりの年間配当につきましては、直近の業績を鑑みまして通期で32円(前期より6円増配)を予定しております。



PER・EPS



PBR・BPS



株主優待制度

保有株式数	株主優待
100株以上	図書カード 1,000円分
500株以上	図書カード 2,000円分
1,000株以上	図書カード 3,000円分
2,000株以上	図書カード 4,000円分
3,000株以上	図書カード 5,000円分

対象:毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主様



配当利回り

【利回り計算】

単元株100株を、株価1,103円[※]で購入頂くと… ※ 2022年5月31日終値

配当3,200円 + 株主優待1,000円 ▶ 実質配当金額4,200円 **配当利回り 3.81 %**

06

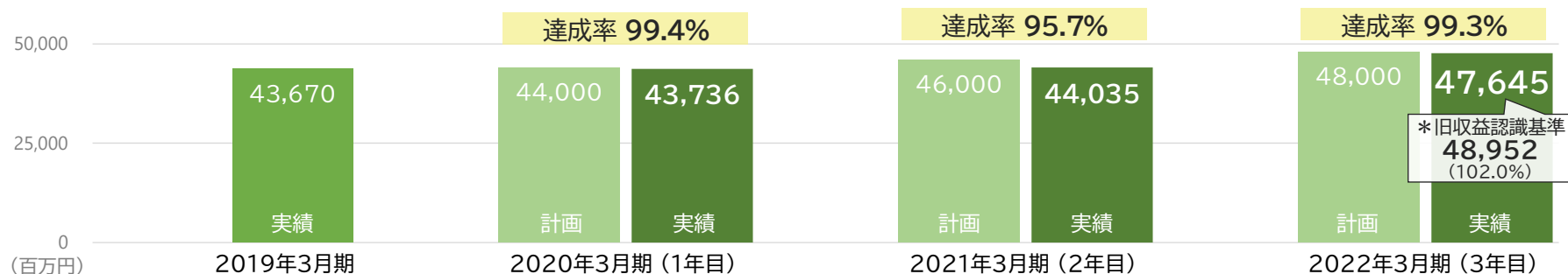
中期経営計画 2022年4月～2025年3月



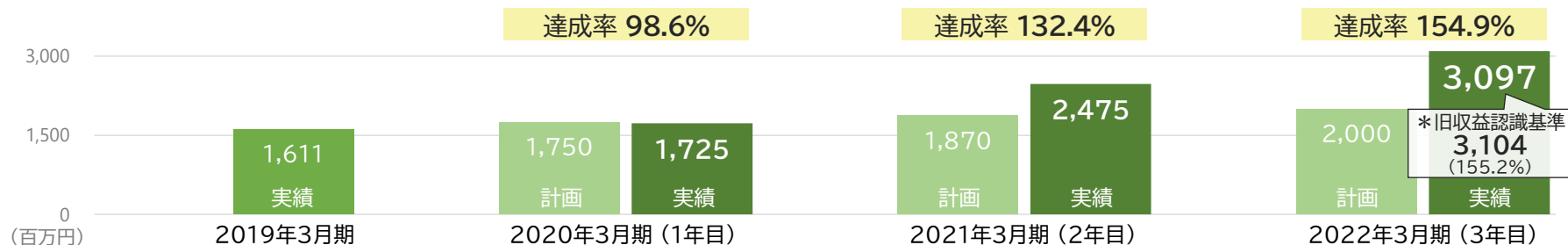
中期経営計画の詳細は
こちらからご覧頂けます

■ 計数計画進捗 サマリー

【営業収益】 ● 新規業務の獲得に加えて、巣籠需要の高まりや国際貨物の荷動きの変化を受け過去最高の営業収益を計上



【経常利益】 ● 適正料金の収受と国際物流マーケット全般の好景により過去最高の経常利益を計上



*2022年3月期(3年目)より新収益認識会計基準を適用しております。その結果、営業収益:△1,307百万円減収、経常利益:△7百万円減益となっております。

新型コロナウイルス
影響大

市場の変化に対応し「計画値以上の収益を達成」

現場の力を結集し「持続的な物流サービス」を提供



■ 主な活動実績

前中計骨子	2020年3月期（1年目）	2021年3月期（2年目）	2022年3月期（3年目）
業績改善と 収益向上 (M&A/アライアンス)	・ネットスーパー業務開始 ・デジタル機器の関東サービスセンター開所	・ロジメディカル さいたま第二営業所開設 ・群馬県内小口配送事業の開始 ・CASHNET♡BOXの販売開始 ・(株)エスグロー社との協業（越境EC） ・他社連携強化によるエリア拡大（警備輸送） ・ホワイト物流推進運動の自主行動宣言提出	・ロジメディカル 四日市営業所開設 ・カンダコーポレーション 吉見センター開設 ・ロジメディカル 海老名営業所開設 ・DMソリューションズ(株)と業務提携（越境EC） 【M&A】(株)ソフトエイジのグループ化 【M&A】堀切運輸(株)のグループ化
人材確保 ・育成	・女性活躍における行動計画の策定 ・定年を65歳へ引き上げ ・フォークリフト教習スクール開校（足利） ・インターンシップ制度の導入 ・定例人事異動制度の導入	・男性社員育休取得推進計画の策定 ・働きやすい職場認定制度の認証取得 ・キャリアコンサルティング窓口の開設	・中途採用強化 ・新卒者向け職場見学会の通年実施
グループ内 整備・強化	・カンダHD本社移転（新本社ビル） ・カンダコーポレーショントランスネット営業部組織変更 ・コーポレートガバナンス ガイドライン改定	・カンダリテールサポート(株)の業務開始 ・カンダビズパートナー(株)の業務開始 ・(株)レキストによる(株)オービーエスの吸収合併	・カンダコーポレーション SCM営業部の設立 ・(株)カンダコアテクノによる(株)レキストの吸収合併 ・浮間物流センターへ拠点の集約
先端技術導入 システム化	・実装研究プロジェクトの発足 ・EVトラックの試験導入	・AGVの試験導入 ・RPAの導入 ・業務システム導入（経費精算 他）	・ドローンスクールの開校 ・目標管理の改定に合わせシステム化 運用開始



■ 新たな中期経営計画策定に向けて

【事業環境の変化と経営課題から導くキーワード】

物流の社会的価値	人手不足	働き方改革
ESG/SDGs	技術革新/DX	アフターコロナ

社会における重要性はより高まる一方、事業環境の厳しさは増していくことが予想される



柔軟で強固な営業基盤の確立 グループ総合力の進化

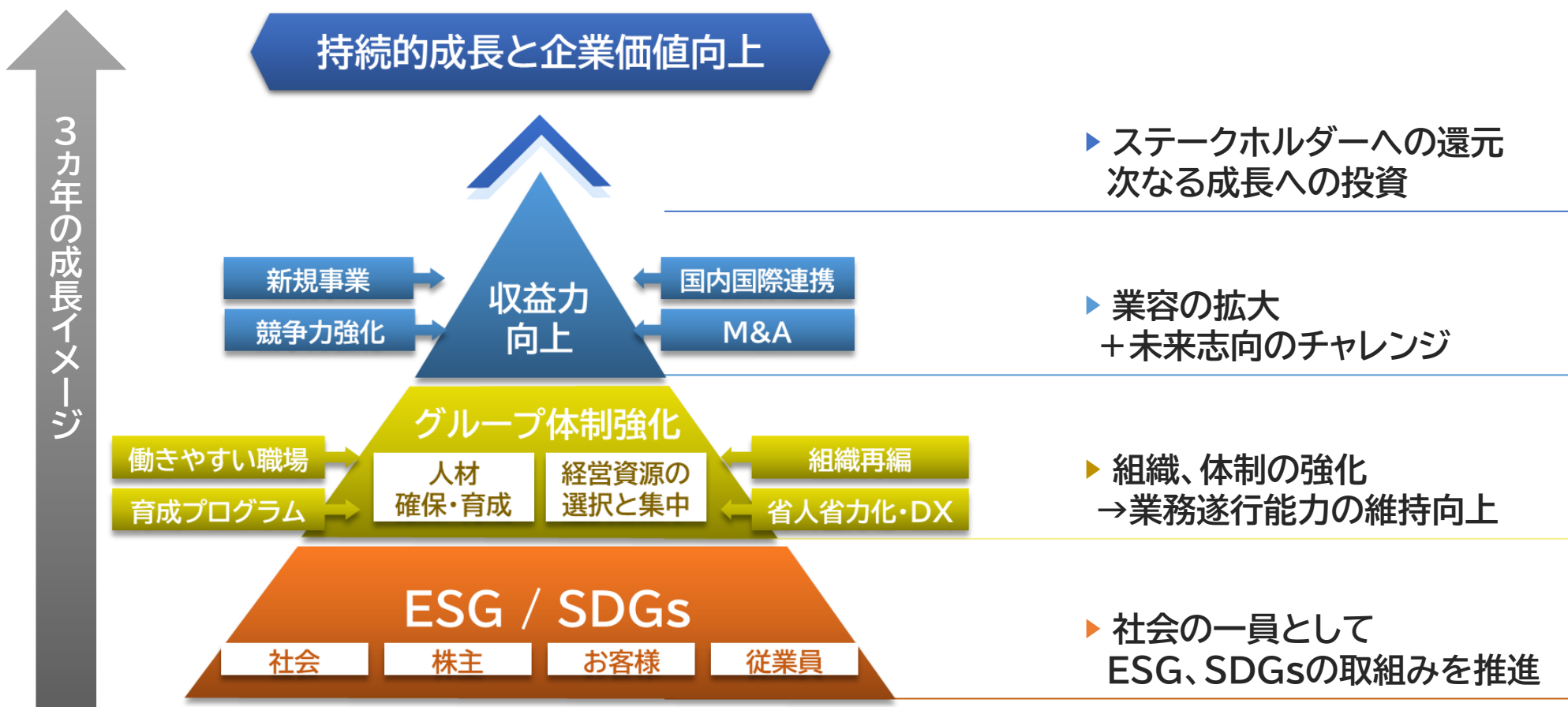


新中期経営計画は、2023年11月に迎える創業80周年とその先の未来を見据えて、ステークホルダーの皆様にとって「魅力あるカンダグループ」であり続けることに加え、「更なる飛躍に向けて足場を固める3カ年」と位置付けます。

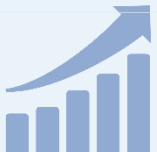
■ 新中期経営計画 2022年4月～2025年3月 スローガン

Let's create the Future 未来を切り拓こう

－ 80年の思い 未来へつなぐ －



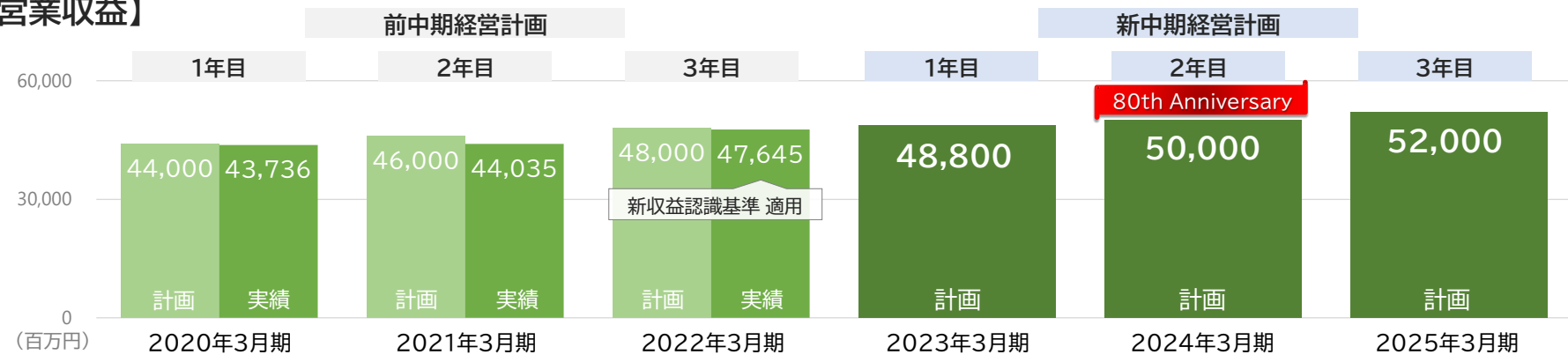
■ 新中期経営計画_骨子

骨子		方針
社会的責任		● ESGを根幹とした経営の実践 ● SDGsへの取組み推進 ● 環境配慮型社会への積極的な対応(カーボンニュートラル) ● 社会インフラとしてのネットワーク機能強化 
グループ体制強化	人材確保育成	● 時代に即した働きやすい職場環境の整備(ダイバーシティ) ● 新卒・中途採用強化と、若手、女性社員の活躍推進 ● 従業員の自己成長に繋がる育成プログラムの策定 
	経営資源の選択と集中	● 柔軟性と即応性がある組織体制への整備 ● 自社物流センターの建設によるアセットの効率的運用 ● 省人省力化及びシステム化(物流DX)の推進 
収益力向上		● 新規事業へのチャレンジ ● 競争力の強化を目指した営業体制の見直し ● 国内国際連携による業容の拡大 ● シナジーをもたらす戦略的M&A、業務提携の推進 
持続的成長と企業価値向上		● 収益基盤に基づく安定的な配当 ● 更なる飛躍に向けた投資 Value up

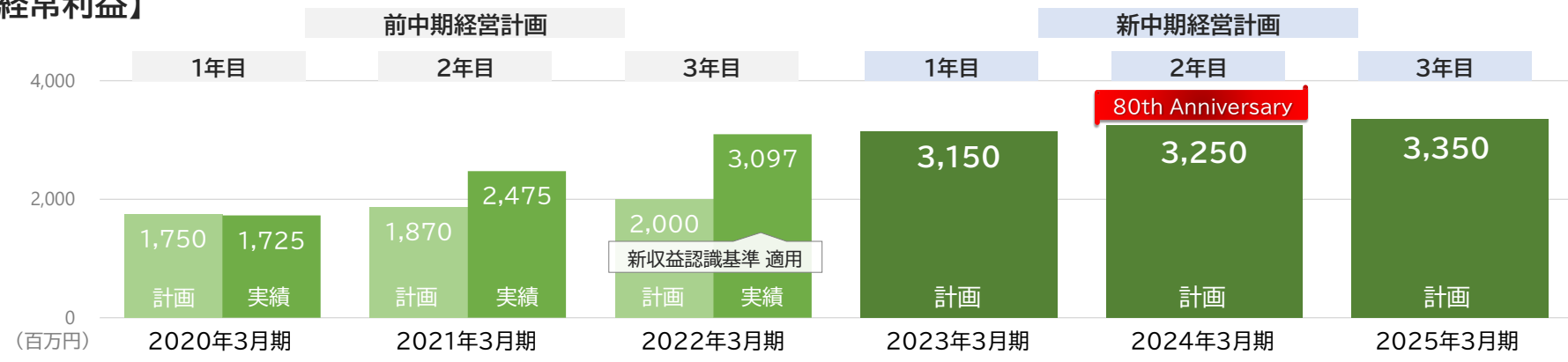


■ 計数計画 サマリー

【営業収益】



【経常利益】



創業80周年を迎える2024年3月期(中期経営計画2年目)では
グループ初となる **営業収益500億円** を目指します。

07 2023年3月期の取組み



未来を見据え 新たな挑戦をしよう

1. 営業力の強化

- ・ 提案型営業の強化
- ・ 食品業務の拡大
- ・ 既存顧客との深耕
- ・ 空きスペースの満床化
- ・ M&Aの促進

2. 現場力の強化

- ・ 収益性の向上
- ・ 社員の採用促進
- ・ WMSの刷新
- ・ 物流DXの推進

3. コンプライアンスの強化

- ・ グループ管理、ガバナンスの強化
- ・ SDGs、ESG経営への取組み強化
- ・ 法務関連部門の強化
- ・ 不動産事業の管理機能強化
- ・ 労働時間管理の徹底
- ・ 働きやすい職場認証制度登録の推進
- ・ ホワイト物流宣言の推進
- ・ 就業規則等、諸規定の改定
- ・ 電子契約書の導入

4. 事故防止の強化

- ・ 運行管理体制の強化とインフラ整備
(IT点呼の実施 / 点呼ロボットの導入と点呼カメラの活用)

5. 教育の強化

- ・ 次世代の幹部候補育成に向けた教育強化
- ・ 新任管理職の基本教育強化



■ 2022年4月 2棟目となる社員寮を久喜市に整備いたしました。



名称	久喜社員寮
所在地	埼玉県久喜市
戸数	ワンルーム×9部屋
アクセス	JR/東武線 久喜駅より徒歩約8分



- ▶ 当社の各拠点から近く、またターミナル駅へのアクセスも容易な利便性の高いエリアに位置しております。
- ▶ 新卒者の生活基盤を支え、人材確保につながるよう活用してまいります。

厚木市にて配送業務開始

■ 2022年6月より 神奈川県厚木市にてペット用品のメーカー共配業務を開始し順次拡大する予定です。



名称	ロジメディカル 厚木営業所
所在地	神奈川県厚木市
お客様	ペット用品卸様
業務範囲	輸配送業務（仕入先集荷/拠点間/量販店向け）



国土交通省HP：物流総合効率化法の認定状況ページより

➡ 本取組みにおける効果（計画値）

車両台数、走行距離削減により
CO2排出量 約58%削減

当社営業所の併設により
手待ち時間 約65%削減

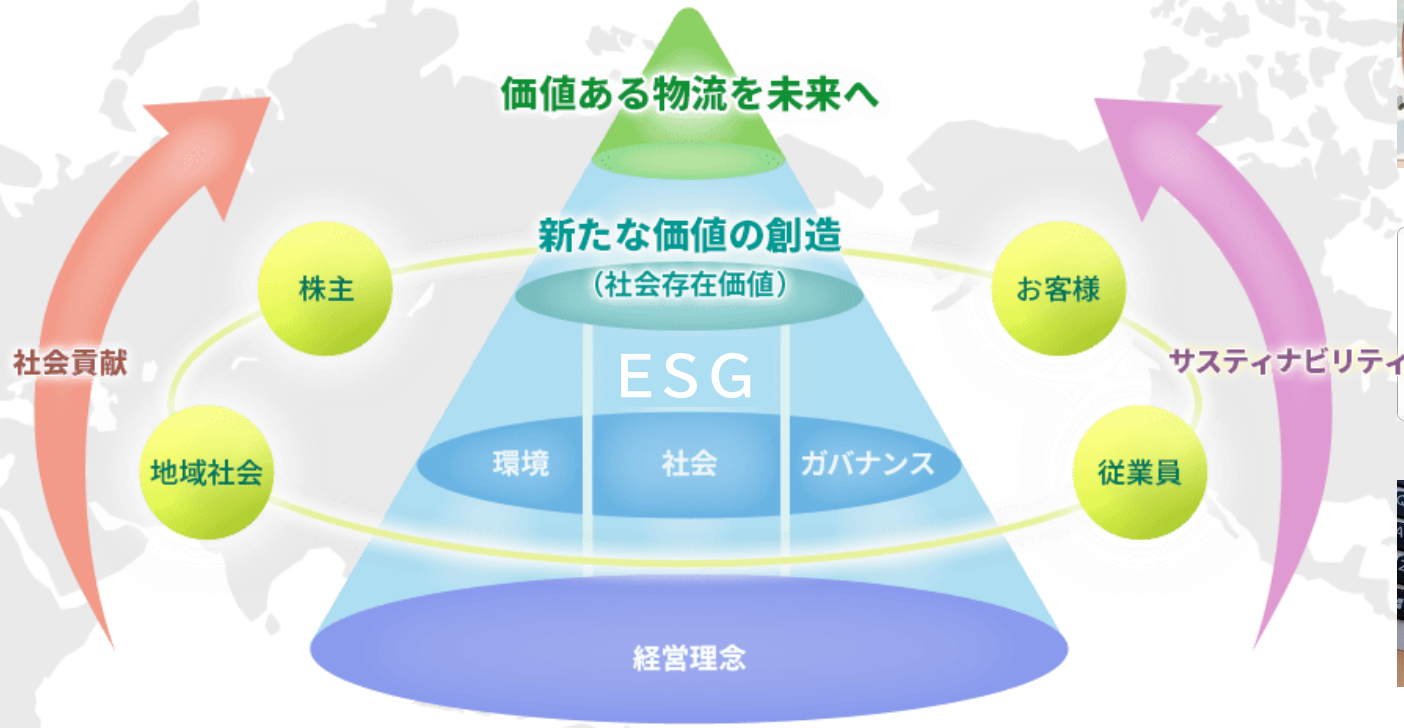
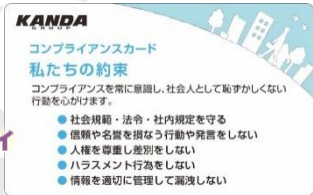
- ▶ 本営業所は、お客様と当社が協業してペット関連商材のメーカー様の物流負担と環境を改善することを目的とし、「物流総合効率化法」における流通業務総合効率化事業として、国土交通省より認定を受けております。
- ▶ 今後ともお客様と共に発展すべく、最適な物流を提供してまいります。

08

ESGとBCP



■ 物流事業を通じて社会の課題解決へ向けた活動を推進してまいります。



環境【Environment】

- ・低燃費車への代替及びEV車試験導入
 - ・物流施設の屋根を利用した太陽光発電
 - ・低炭素型本社ビルの竣工
 - ・グリーンエコプロジェクトへの参加
- 

社会【Social】

- ・交通事故発生防止に向けた取組み強化
 - ・特例子会社による障がい者雇用促進
 - ・女性の活躍推進
 - ・事業所内保育施設設置
- 

企業統治【Governance】

- ・コーポレートガバナンスの改定
 - ・コンプライアンスの徹底
 - ・リスクマネジメント
 - ・BCP/BCMの構築
- 



2022年3月期より当社のCSR活動をESGの観点からまとめた「CSRレポート」を発行しております。



- ▶ 本レポートは以後毎年8月を目途に発行し、当社ホームページ上にて開示いたします。
- ▶ これからも「物流を通じて社会の発展に貢献します」の理念のもと、積極的なCSR活動に取り組んでまいります。



■ 昨年度より取組む本認証制度において新たに8営業所で「一つ星認証」を取得いたしました。

【認証取得状況】※グループ合計24営業所で認証取得しております。

カンダコーポレーション(株) 4営業所 / (株)カンダコアテクノ 7営業所 (2022年2月取得)

カンダリテールサポート(株) 4営業所 / カンダ物流(株) 8営業所 / (株)名岐物流サービス 1営業所 (2022年2月取得)

【一つ星認証の審査要件】

認証項目	判定内容（一部抜粋）
1. 法律遵守	労働基準法、36協定等の違反有無
2. 労働時間・休日	長時間労働の管理、休日取得への取組み状況
3. 心身の健康	健康診断の実施、ハラスメント相談窓口の設置状況
4. 安心・安定	定年延長制度の有無、時間外手当の支払い状況
5. 多様な人材の確保・育成	運転免許取得支援制度の有無、女性運転手の働きやすさ



「働きやすい職場認証制度」とは・・・

自動車運送事業におけるドライバー不足の解消に向けて国土交通省、厚生労働省が推進する取組みで、トラック運転手の労働条件・労働環境を認定団体が公正に評価し、優良な職場環境の運送事業所として認証を受けることができる制度です。

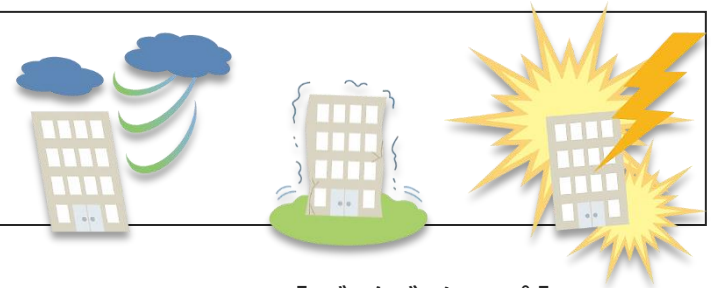
※今後「一つ星」「二つ星」「三つ星」の3段階認証が予定されており、現時点では試行実施期間として「一つ星」のみ取得が可能です。

- ▶ この認証を、日頃から取組む「働きやすい職場環境の整備」の指標として、有効に活用してまいります。
- ▶ 今後「二つ星」「三つ星」の認証制度が確定され次第、より良い認証の取得に向け取組んでまいります。

■ 災害への備え

【基本方針】

- ・ 従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- ・ 施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- ・ 事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- ・ 地域社会の一員として貢献します。
- ・ 従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的な見直しを行います。



〔食料・飲料水の備蓄〕



災害対策本部となる本社事務所では本社従業員数の5日分に当たる食料・飲料水を備蓄しております。

〔燃料確保〕



インタンクに燃料を備蓄している他、提携企業と燃料の優先供給に関する協定を締結しております。

〔データバックアップ〕



情報資産を守るため、データのバックアップセンターを関東地区に設置しております。

〔緊急時連絡体制〕



電話回線が不通になる事態に備え、全国13の営業所に衛星携帯電話を設置しております。

〔非常用自家発電設備〕



停電等のリスクを鑑みて一部の物流施設では非常用自家発電設備を設置しております。

〔高耐震施設〕



災害対策本部となる本社ビル及び自社物流施設は、建築基準法の規定を上回る耐震性能で建築しております。

▶ 予想される重大な災害等(自然災害・感染症等)により甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な提供により社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しております。

■ 2023年3月期 運輸安全マネジメント

■ 基本的な方針

- ① 安全と生命は全てに優先する
- ② 安全・確実・迅速の業務遂行
- ③ 安全管理体制と安全教育体制の強化

■ 2023年3月期安全対策費用

予算)7,500万円 (2022年3月期実績 6,000万円)

■ 2023年3月期 活動予定(一部抜粋)

- ・Gマーク認証の新規、継続取得
36事業所で認定 ※2022年3月末日現在
- ・運行管理者、補助者研修会の実施
- ・運行管理者試験対策(内外部講習)
- ・初任運転者及び高年齢運転者向け実車研修の実施
- ・ドローン空撮による実技判定(癖、習慣)に対する指導の実施
- ・一般適性診断の計画受講の実施(K-2型、クラウドNF診断)
- ・ドライブシミュレーターによる個人カウンセリングの実施
- ・点呼補助ロボット、点呼確認カメラを活用した実施確認の強化
- ・職場環境改善リスクアセスメント研修の実施
- ・ドライブレコーダーを活用した安全教育の実施
- ・動画KYTを活用した危険感受度向上教育の実施
- ・SAS検査や脳ドック検査及び生活習慣病予防の重要性指導
- ・最新技術車両を導入し安全を最優先したエコドライブの実施





本資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等について記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取り巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらしていることがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。

 **カンダホールディングス株式会社**

お問合せ先：カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話：03-6327-1811(代) FAX：03-6327-1800

ホームページ：<https://kanda-web.co.jp/>

e-mail：hd-soumu@kanda-web.co.jp